



# しもよねだ



No. 5

学校の教育目標 かしこく(よく考える子) あたたく(思いやりのある子) たくましく生きる子(強い体の子) 令和5年7月20日

学徳高き<津田左右吉博士>のふるさと下米田で、**健やかに育つ子ら!**



## 心に染みる言葉の数々

校長 佐藤 亜紀

校門横には、昨年度のこぼれ種から命を受け継いだ向日葵が、たくましく大きな花を咲かせて子どもたちの登校を迎えています。

本日、71日間の1学期を終え、全校揃って体育館で終業式を行いました。

4月1学期の始業式で子どもたちに話した「言葉のキャッチボール」。この1学期間にも優しい言葉は相手にも優しく届き、やがて自分にも優しく返ってくるという言葉の“やりとり”が学校という社会の中で紡がれ、心に染みわたる営みの連続でした。

朝、校門に立ち、登校する子どもたちを迎えています。「おはようございます。」と言葉を投げ掛ければ「おはようございます。」と返ってくるのがほとんどです。「暑い中、頑張って歩いてきたね。」と投げ掛けると、「先生も、毎日ありがとうございます。」と優しい心が返ってくることもありました。

休み時間に校舎内を歩いていると、多くの子どもたちに出会います。中には、立ち止まって「先生、こんにちは。」と、目を見てにっこりと会釈を付けて挨拶を交わす温かな心に出会います。狭い通路では、「お先にどうぞ。」と声を掛けると、「先生、ありがとうございます。」とお辞儀をして通っていく譲り合いの心に出会います。

委員会の仕事で、鍵や旗を借りたり返却をしたりするために職員室を訪れる子どもたちがいます。「ありがとう。お疲れ様。」と声を掛けると、「はい。ありがとうございます。」と返す礼儀正しい姿に出会います。

子どもは、大人の言動をよく見ています。“子どもだから許されること”があったとしても、やがて大人になっていくための人間形成の時期である“今”だからこそ、言葉遣いや礼儀、マナーは、私たち大人がまず、姿で教えていくことが大切だと思います。前述の子どもたちの言動は、まさに人との関わり方を身に付けている証です。

39日間の夏休みに入ります。安全・安心を最優先し、健康には十分気を付けて、本当の意味の「楽しさ」を味わえる日々にしてほしいと願っています。1学期間、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

\*各担任からの暑中見舞いは、7月28日に、タブレット(チームス)にアップします。是非、ご覧ください。